

◎医師偏在指標について

1 医師偏在指標の比較について

		医師偏在指標					
		令和5年4月			(前回：令和元年10月)		
		値	順位	備考	値	順位	備考
全 国		255.6	-	-	239.8	-	-
京 都 府		326.7	2	多数	314.4	2	多数
2 次 医 療 圏	丹 後	155.6	280	少数	134.9	299	少数
	中 丹	198.2	170		184.0	149	
	南 丹	177.1	228	少数	166.4	206	
	京都・乙訓	401.4	5	多数	397.3	4	多数
	山 城 北	207.1	133		178.4	163	
	山 城 南	160.8	267	少数	141.5	285	少数

2 医師偏在指標に係る主な変更点

- ・ 医師偏在指標のうち「病院医師偏在指標」と「診療所医師偏在指標」が新たに公表されるとともに、産婦人科医師偏在指標が「分娩取扱医師偏在指標」に変更された。(各指標の数値は参考資料10のとおり)
- ・ 医師・歯科医師・薬剤師統計において、「従たる従事先」を記載した場合、「主たる従事先」の勤務を0.8人、「従たる従事先」の勤務を0.2人としてカウントする。(従前は「主たる従事先」を1人とカウントし、「従たる従事先」は考慮されていなかった。)
- ・ 新型コロナウイルス感染症による受診控えを考慮し、受療率は前回同様平成29年の患者調査を用いて算出する。

3 本府への影響

- ・ 新たに南丹医療圏が、医師偏在指標における「医師少数区域」及び分娩取扱医師偏在指標における「相対的医師少数区域」となった。

◎ 京都府は10万対医師数が全国2位であるが、京都・乙訓医療圏以外の医療圏は全国平均を下回る数値であり、医師の偏在が問題となっている状況は変わっていない。

医師偏在指標 京都府内の状況

上段： 厚生労働省から令和元年10月に示された医師偏在指標

下段： 厚生労働省から令和5年4月に示された医師偏在指標

<都道府県単位>

[医師のうち病院・診療所] ※前回提示なし

三次医療圏		病院医師偏在指標			診療所医師偏在指標		
		指標	全国順位	備考	指標	全国順位	備考
京都府	R1.10	-	-		-	-	
	R5.4	提示なし			提示なし		

[産科※]

分娩取扱医師偏在指標		
指標	全国順位	備考
15.1	7	
13.9	2	

[小児科]

小児科医師偏在指標		
指標	全国順位	備考
143.6	2	
152.7	2	

[外来]

外来医師偏在指標		
指標	全国順位	備考
提示なし		
141.4	2	多数

※前回は分娩を取り扱わない産婦人科医を含む

<二次医療圏単位>

二次医療圏		病院医師偏在指標			診療所医師偏在指標		
		指標	全国順位	備考	指標	全国順位	備考
全国平均	R1.10	-	-		-	-	
	R5.4	175.9	-		79.7	-	
丹後	R1.10	-	-		-	-	
	R5.4	104.9	265	少数	49.2	283	少数
中丹	R1.10	-	-		-	-	
	R5.4	140.8	141		55.9	253	少数
南丹	R1.10	-	-		-	-	
	R5.4	114.2	234	少数	62.9	199	
京都・乙訓	R1.10	-	-		-	-	
	R5.4	291.2	6	多数	109.6	8	多数
山城北	R1.10	-	-		-	-	
	R5.4	132.1	167		75.2	100	多数
山城南	R1.10	-	-		-	-	
	R5.4	85.5	318	少数	75.1	104	多数

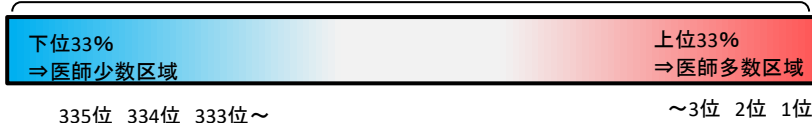
分娩取扱医師偏在指標		
指標	全国順位	備考
12.8	-	
10.6	-	
12.7	97	
15.2	35	
7.3	238	相対的医師少数
6.6	228	相対的医師少数
13.3	89	
5.1	259	相対的医師少数
16.9	36	
15.8	30	
13.0	96	
13.5	41	
14.6	64	
11.5	79	

小児科医師偏在指標		
指標	全国順位	備考
106.2	-	
115.1	-	
120.5	58	
128.6	71	
110.1	97	
132.7	59	
133.6	31	
124.9	84	
159.2	14	
163.5	15	
103.7	126	
127.4	75	
88.8	190	
96.2	189	

外来医師偏在指標		
指標	全国順位	備考
106.3	-	
112.2	-	
89.0	230	
92.9	216	
100.2	148	
97.8	183	
91.3	211	
90.6	228	
152.0	6	多数
161.3	4	多数
93.7	197	
103.6	145	
86.3	243	
85.8	259	

* 医師少数区域及び医師多数区域

医師偏在指標 全国335医療圏



* 相対的医師少数区域

分娩取扱・小児科医師が相対的に少ない地域等においても、医師が不足している可能性があることに加え、これまで医療圏を越えた地域間の連携が進められてきた状況に鑑み、医師多数区域や医師多数三次医療圏は設けず、**下位33%を「相対的医師少数区域」と呼称する。**

* 外来医師多数区域

上位33.3%を外来医師多数区域と設定し、都道府県等に情報提供を行うことで新規開業者における自主的な行動変容を促し、偏在是正につなげる。